

## 【神奈川県小田原市】【神奈川県労働局ハローワーク小田原】 地元企業の人材確保のため「高校生ジョブツアー」を実施

### 【目的】

地元企業の人材確保として、地元に残り地域経済の発展を担ってもらうきっかけとなるよう、**地元高校生と地元企業が交流する機会を提供**し、地元で働くことの意義を考えてもらうきっかけを提供する。

※ 高校生に働く現場と、年齢が近い学校の先輩たちが働いている姿を実際に見てもらうことにより、仕事をより身近に感じてもらうことが可能。

※ 対象企業は、新規学卒者の採用やキャリア教育に理解がある企業を市と国で選定（高校生の興味が高い「製造メーカー」、「金融機関」、「接客関係職種」等）。

### 【実施概要】

- ・対象者：管内の高校1・2年生を対象に実施
- ・開催日：平成27年8月4日（火）
- ・見学企業：4社（地元商工会議所からも意見を伺いながら選定）
- ・セミナー：移動のバスの中で、ハローワークの学卒ジョブサポーターによる①労働関係に関するクイズ形式によるセミナー、②訪問する企業の業界の豆知識の説明、等を実施
- ・企業見学後：ハローワークの会議室で参加生徒と情報交換を行うとともに、ハローワークの見学を実施。

### 【役割分担】

#### 【小田原市】

- ◆バスの提供
- ◆高校（生徒）への参加勧奨
- ◆当日の運営

#### 【ハローワーク】

- ◆見学企業選定への情報提供
- ◆参加勧奨への協力
- ◆バス内でのセミナー
- ◆見学後の振り返り・意見交換

### 【効果】

- ◆平成27年度は18人参加（平成26年度は16人参加）
- ◆先輩社員の声や働く姿を見て、「仕事」を肌で感じてもらうことができた。
- ◆地元企業をアピールすることができ、将来、地元で働いてほしいというメッセージを発信することができた。



### 小田原3J事業

小田原市とハローワークは、「ジョブツアー」と、「ジョブスタディ」(※1)の高校生就職支援事業を連携して実施。また「ジョブシャドウ」(※2)の実施を協力。

※1 高校1、2年生を対象に「働く」を知るセミナー、生徒と企業の交流会を実施(ハローワークと市、地元商工会議所の共同)。

※2 高校1、2年生の生徒1人が企業の社員1人に数時間「影」(シャドウ)となって「働く」ことを体験(企業による地域貢献事業を市と後援)。

### <小田原市コメント>

高校在学時に地元企業を知ってもらうことは、将来の地域経済発展への布石である。関係機関と連携して地元企業の人材確保に努めてまいりたい。

### <労働局コメント>

高校1年、2年生の早い時期に働く現場を見ることにより、地元企業を知ることにつながる。地方自治体と連携を図ることで、地域に根ざしたキャリア教育が実施できるため、今後とも推進していきたい。